



平成28年9月16日

## 歯学生の創発に向けた新カリキュラムが始動

岡山大学歯学部は将来の歯科医療を担う人材育成を大きな目的としています。しかし近年、日本の社会構造の変化や、産業構造の変革、さらにはデジタル化を含む技術革新など、医療の周囲で大きな変化が起こっています。それにより、医療系学部も、従来どおりの医療を推し進めるだけでなく、「新しい時代に則した新しい医療を積極的に創造する時代」に入ってきました。

そのような背景から、本学部は新しい歯科医療を創造できる人材の育成を目的とした新カリキュラムを今年度から始動しました。

### <概要>

新カリキュラムは、社会問題を提議し、新しいモノやコトのデザインを通し解決策を提案、さらには社会への実装を実現できる人材の育成を目的としています。

特徴としては、①これまでになかった老年歯学、医科歯科連携講義の充実、②次世代型臨床技術を含む臨床実習の拡充、③超イノベティブ人材の育成の3点です。

特に、ポイントとなる「超イノベティブ人材の育成」の具体的なカリキュラムとして、大学入学直後の新入生を対象に以下の取り組みを始めています。

#### 1) ひたすら文章を書く授業「自己表現力演習」

第1～2学期、1週間に1回、ひたすら文章を書く授業「自己表現力演習」を続けてきました。言語化することは、意思疎通だけでなく、自己実現においても重要です。例えば、自分自身の本心や、自分が本当に興味あること、自分の弱点や改善点などさまざまな内面を言語化することで、次のステップに進むことが容易になります。

具体的には、大学入学後の4ヵ月間、学生に毎週作文を課します。前半の2ヵ月間は他己紹介や本の紹介などを通して文章を書くことを学び、後半の2ヵ月間で特に自分自身のことについて掘り下げていく内容です。

#### 2) 「モノ・コトデザイン演習」

第3学期からは、3～5人のチームで歯科医療、高齢化社会などにおける問題を見出し、その解決に向けた社会実装をモノやコトのデザインを通して進める「モノ・コトデザイン演習」を始めます。

この新カリキュラムは、米国MIT（マサチューセッツ工科大学）などで提唱されている新しい創発の進め方をベースに、「ニューメタボリズム型カリキュラム」と名付けました。これは、大学、大学院、病院での問題提議を、社会デザインをもって解決し、社会実装につなげることで、さらに循環的フィードバックにより、社会システムを進化させ



## PRESS RELEASE

ていくことにつながるこれまでにない成長型カリキュラムとなります。

### <期待される成果>

本カリキュラムを通し、自分たちが歯科医療の単なる提供者ではなく、新しい歯科医療を創造する担い手であるという認識を学生が持つようになることを狙いとしています。このようなマインドを歯科医師一人一人が持つことで、今後の歯科医療のよりよい発展、さらには国民のQOL向上が期待できます。

本カリキュラムの創設により、本学部出身者から、新しい歯科医療産業の担い手（例えばベンチャー企業の創業者）や、新興国に日本の新しい歯科医療を伝える担い手、さらには次の時代の日本をリードする人材を育てていきたいと考えています。

注1：別添の参考資料は昨年度末時点のもの。現在の学部長は浅海淳一教授、教務委員長は久保田聡教授。

注2：老年歯学、医科歯科連携講義、実習の拡充に関しては別途取材対応いたします。

### <お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（歯）

教授 松本 卓也

（電話番号） 086-235-6665

（FAX番号） 086-235-6669